

中高生まなぶん……

道新デジタルの教育コーナー

道新先生

検索



この春、新たな大学生活の始まりに胸を膨らませている人も多いでしょう。北大や室蘭工大など道内の複数の大学には学寮(寄宿舎)での生活を寮生自らが運営する「自治寮」があります。中でも北大恵迪寮は、札幌農学校(現北大)初代教頭ウリアム・クランクの自主独立の精神が寮生の創意工夫で引き継がれています。

現在、男女の寮生約400人が暮らす恵迪寮。入寮案内には「『自治』とは自らに關することを自らで解決する」とあります。例えば、掃除や食事当番など生活に関わる事は寮生が話し合ってルールを作ります。寮祭などは自治を行う環境でこそ自由な発想が可能だといえます。

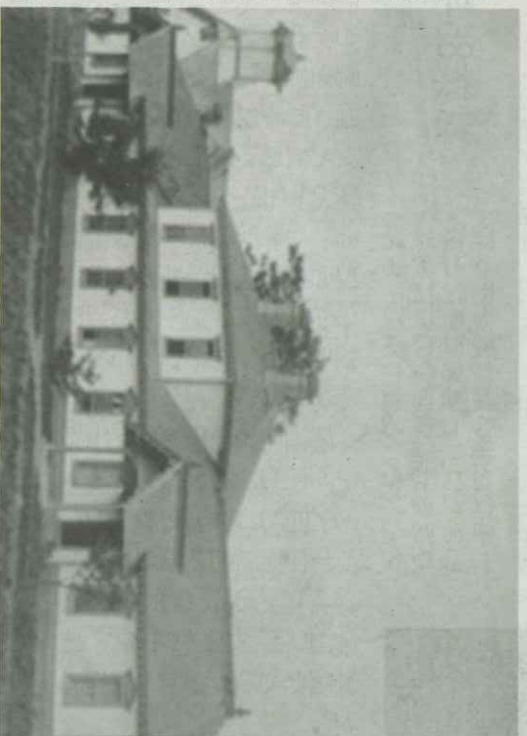
寮長の岸大輔さん(21)は「自治を基礎として、どうしたら日常がより豊かになるかを模索しています。議論したり、何かを達成したりする経験は、成長につながると思います」

103 大学の自治寮

自主独立 議論と協働で培う

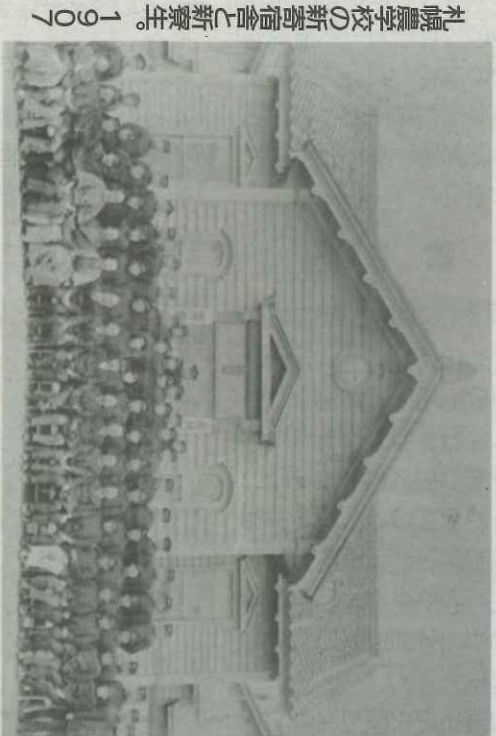


「います」と話します。恵迪寮の自治の源はどこにあるのでしょうか。恵迪寮の歴史に詳しい元北大副学長の藤田正さん(74)は「クランク博士が校則とした『gentleman(紳士たれ)』が源です。卒業生の新渡戸稲造の勧めもあって1899年(明治32年)、学生自らが寮(自治を宣言したのです)。当時は日清戦争勝利に酔う風紀の乱れがあり、寄宿舎(恵迪寮)が潰れた年



札幌農学校の寄宿舎。左は演武場(1877年ごろ)(北大付属図書館提供)

寮の前身)の秩序を保つためにそれぞれの手で22条から成る規約(87)「横浜市在住」は「父も三女の木原ゆり子さんです。三女の木原ゆりさんが設けられました。学寮ほどの自治活動史が専門の近畿大教職教育部(東大)の教授 富岡勝さん(59)と話をします。有島が寄宿舎を務めた08年には「自治によると、90年に第一高等中学校(現東大)の寄宿舎に自治制が導入されると、旧制高麗、ニトリや豚も飼育され、学校の寄宿舎が自治による共同生活を通じた教育施設として意識されるようになり、歴史に詳しい元北大副学長の藤田正さん(74)は「クランク博士の精神に由来する恵迪寮は出色」と指摘します。1907年、農学校は東北帝大農科大となり、その2年(明治32年)、学生自らが寮(自治を宣言したのです)。当時は日清戦争勝利に酔う風紀の乱れがあり、寄宿舎(恵迪寮)が潰れた年



札幌農学校の寄宿舎と新寮生。1907年に「恵迪寮」と命名(1905年(北大付属図書館提供)

寮生活の様子(昭和30年代)(「室蘭工業大学百年」より)

工大)の明徳寮は45年に寮自治の権利を獲得しました。現在約240人の男子学生が暮らし、寮長の落合宏紀さん(20)は「大勢での生活は煩わしいことも多いですが、その中で得られる価値を伝えた町のつくりの魅力を講演してもらったことがきっかけです。寮生の勝管内土幌町と共同で土幌小(鎌倉大輔さん(23)も「土幌町への旅行を通じて寮生同士の交流が深まり、同時に地域社会にも貢献できる」と小厦の魅力を語ります。

近年、老朽化などの理由で全国の自治寮が減少しています。その中で先月、京大吉田寮の寮生に建物の明け渡しを大学が求めた裁判で、京都市裁判が居住を認める判決を出しました。京大大学院法学研究科教授の高山佳奈子さんは「低廉な寄宿料の居住のみが寮生活の目的ではなく、多様な学生による自治の意義を司法が認めた」と指摘します。



「自治とは自炊なり」。自治寮制が実施された恵迪寮(1913年(「青春の北大恵迪寮」より)



新入寮生を歓迎する土幌ツアラー。後ろに建つのが土幌小屋チセ・フリップ(恵迪寮提供)

です。

だ筆者も勇気づけられる言葉